

まえはたいせき

# 前畑遺跡 国史跡指定

平成27年に大字筑紫・若江<sup>ちくし わかえ</sup>で発見された前畑遺跡の「土塁状遺構」は、古代大宰府に深く関わる重要な遺跡であることから、国の文化審議会（令和6年12月20日開催）で新しく国史跡として指定するよう文部科学大臣に対して答申されてきました。

このたび官報告示（令和7年3月10日）によって、正式に国指定史跡となりました。

前畑遺跡の土塁状遺構は、大宰府政庁の南東の丘陵上に自然地形をうまく利用しながら、長さ558m以上にわたって造られた極めて大規模な土木構造物です。7世紀中頃～9世紀後半頃にかけて機能していたと考えられています。

これが見つかった土塁状遺構の断面だね！



前畑遺跡のまわりにはこんなにたくさんの古代の遺跡があるんだね！

古代大宰府と関連があり、国家的な関与のもとに築造されたと考えられています。大宰府をとりまく水城や小水城、大野城や基肄城<sup>きいじょう</sup>などの古代山城と一体的に機能した大宰府の外郭線を考えるきっかけともなりました。

問合せ先

筑紫野市教育委員会

文化財課 文化財保護担当

☎ 092-923-1111 (代表)

